



12月のほけんだより



令和元年12月発行
はごろも保育園

年の瀬を迎え、何かとあわただしい12月。子どもたちにとっては、おゆうぎ会にクリスマスと、お楽しみがいっぱいの月ですが、年末年始は外出や来客なども多く、生活リズムが乱れがちです。また、感染症も流行る時期です。体調管理には十分気を配っていきましょう。

尿検査のお知らせ

12月10日(火)に配布します。

12月11日(水)~13日(金)が提出日です。9時までに提出して下さい。

尿は、提出日当日の朝に採取して下さい。

園での採取は保育に支障が出ます。

必ず自宅で採取して下さい。

期限内に提出していない場合は、12月16日(月)

~20日(金)までに、各自で中部地区医師会立

成人病検診センターへ提出して頂きますのでご

了承下さい。(検診センターへは8時30分~

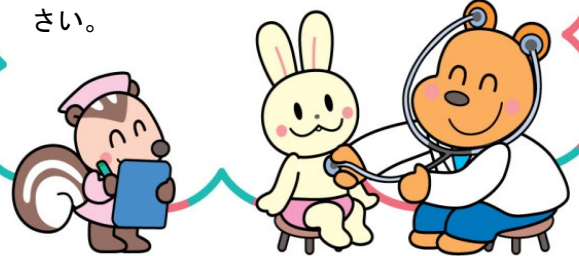
13時までの提出です。)

内科検診のお知らせ

本園：12月9日(月)9時30分から

分園：12月10日(火)9時30分から

日頃気づきにくい病気を早く発見したり、成長を知ったりすることは、子どもの健康を守るためにとても大切です。医師に聞いておきたいことなどがあれば、お知らせ下さい。



歯科検診のお知らせ

分園：12月17日(火)9時30分から

気になる事がありましたら、担任までお知らせ下さい。

油断できないかぜ

かぜは年齢が低いほど、中耳炎や気管支炎、肺炎などを起こしやすくなります。気管の弱いお子さんの場合は、のどがゼーゼーしたり、長引いたりする傾向があります。早めに診察を受けましょう。

冬のかぜによくある特徴

せき・鼻水・のどの炎症・発熱 → 呼吸器系にくるかぜ

下痢・おう吐 → 消化器系にくるかぜ

両方の症状 → インフルエンザの疑い

かぜからくる急性中耳炎に注意

かぜをひいた後、気をつけたいのが「急性中耳炎」。鼻水が耳管(鼻と耳をつなぐ管)を通して耳に流れ込み、炎症を起こします。子どもは耳管が短くて太いため、急性中耳炎になりやすいのです。

高熱

症状

一時的な難聴
閉そく感

激しい
耳の痛み

予防

- 鼻水はこまめにとる
- はなは強くかまない。片方ずつ、やさしくかむ

繰り返しやすく、滲出性中耳炎に移行しやすいので、きちんと治すことが大切